

心配り



「どうしてこんなに早くからお見えなのですか?」と伺うと、「このあと所用があり、7時には失礼するので・・・」とその保護者の方は話されました。まだ、誰もいない品野中学校運動場で、黙々と草を抜いておられました。4年ぶりに開催できたPTA主催の環境整備作業当日8月26日(土)の早朝の会話です。今回の環境整備作業は、参加できる人で行うボランティアでしたが、都合がつかないことをやれない理由にしない、その心配りに敬服しました。7時近くになると、タオルに帽子に簡易椅子などなど、入念に準備された保護者の方々が集まり、気がつくやうに、保護者、子どもたち、教職員、合わせて120名以上がグラウンドに。熱中症対策で、朝の涼しいうちにと7時からの作業でしたが、それでも、流石に汗をかきました。数は力、1時間ほどの作業で、かなりきれいになり、とてもすがすがしい気持ちになりました。参加していただいたみなさんに感謝です。そして、9月に入っても応援団長の指示で、全校生徒がグラウンド整備に関わっています。仲間への心配りが随所に見られます。

先日、ある高校に行ったとき、本校の卒業生と会うことができました。友人たちと楽しそうな様子でいた彼とはちょっと距離はありましたが、目が合うと「なんでここに先生が・・・」と驚いた表情。でも、そのあとにすぐ穏やかな表情をつくりこちらに向き直ってキリッと会釈。一瞬のことでしたが、礼を尽くすその心配りに感心しました。そして、そのかっこいい姿を見て、きっと充実したスクールライフを送っているのだろうと想像しました。

心配りという言葉の意味は、「あれこれと気をつかうこと。心づかい。配慮」です。相手を思い、何をしてあげたら喜ぶのかなど、相手の心に寄り添い行動すること。気配りよりも、さらに相手のことを思って行動することです。相手の立場になって考えて行動するのが、心配り。心配りができると、相手に感動を与えることができます。